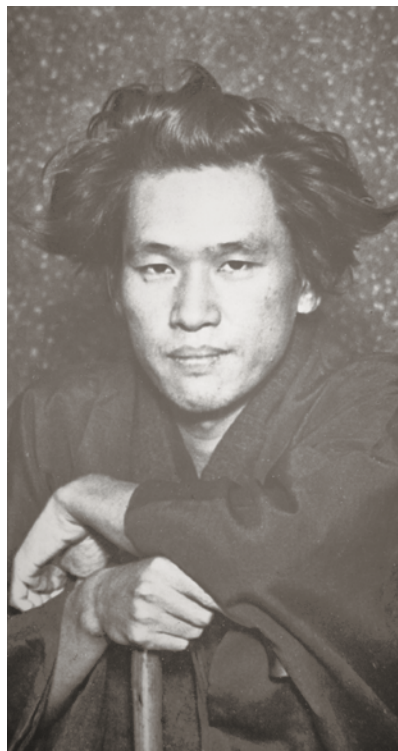




▲霊山を眺める

母・こぎく、姉・しずこ、利一▼



横光利一▲

▲柘植町寺山地区にある記念碑

ぶんと通信

第82号

2012年6月15日発行
(公財)伊賀市文化都市協会

横光利一の幼少期と作品から

「蟻臺上に餓えて月高し」

横光利一は、明治三十一年三月十七日、福島県会津若松市の東山温泉で生まれた。父・梅次郎は大分県の人で鉄道関係の土木工事の仕事をしていた。母はこぎく、三重県柘植野村の中田氏の出である。

三歳の時に山梨、柘植、広島へと移住、明治三十七年四月には大津尋常小学校に入学した。五月に西尋常小学校に転校、六月には父が朝鮮に渡ることになり、母とともに母の故郷柘植に戻って、柘植小学校に転校、四年余り過ごした。明治四十一年九月二学期から上野の丸之内尋常小学校へ転校、翌年五月には大津西尋常小学校に転校、そこで卒業した。明治四十三年三月には滋賀県立第二中学校(現・膳所高校)を受験し、失敗した。同年四月から、大津尋常高等小学校高等科で一年過ごし、翌年四月には三重県立第三中学校(現・上野高校)に入学。上野町で正三年三月に卒業するまで、青春期を過ごした。このように幼少年期に転々と住まいや学校が変わったことの影響がいくつかの作品に色濃く表れている。

作品『三つの記憶』の中に「私の故郷は伊賀の山中の村の柘植である。(略)学童から虐められ、その度に反抗して気持ちが悪く暴しくなっていた」と書いている。八歳の時、母の入院、姉との生活、母の親戚のお寺に預けられたこともあった。横光は「少年の悲しみ」の中で「父も朝鮮で長い間病氣をしておりましたので、お金が父から少しも送ってきませんでした」と、苦しい家計も書いている。

幼少期を扱った作品には、貧困、孤独、いじめ、悲しみ、運命がモチーフとして流れている。同時に喧嘩、反抗、忍耐なども描かれ、屈折した心情と複雑な故郷への心象風景がうかがえる。

文壇で有名になってからも、「最も印象に残る地は、三重県伊賀国東柘植なり。この地は母の生まれし所なれば、多くこの地に幼年期を送る」と言う様に、伊賀への思いが深いことを知らされる。

横光の死後十二年、最も好んで書いた『蟻臺上に餓えて月高し』の詩句が白い石に刻まれ、記念碑として故郷の丘に建てられた。理想に向かって孤独な闘いを挑む蟻横光の姿は、幼少期から貫かれていた。

【取材協力 上野高校同窓会文庫】
(広報事業委員 西岡時彦)

BUNTO チケット情報

ORANGE RANGE LIVE TOUR 012



6/24日 好評発売中

開場17:00 開演17:30
一般 5,500円
(全席指定)
伊賀市文化会館

新世紀コンサート2012 坂元愛由子 トリオコンサート



8/4日 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般 1,000円
(全席自由)
青山ホール

石川さゆり 40周年記念コンサート



9/2日 6/30日発売

①開場12:30 開演13:00
②開場16:30 開演17:00
一般 6,500円
(全席指定)
伊賀市文化会館

和太鼓フェスティバル 風の宴 in 伊賀



9/23日 7/28日発売

開場13:30 開演14:00
一般 3,000円
(全席指定)
伊賀市文化会館

SPANISH CLASSICAL NIGHT



10/8日 8/11日発売

開場17:30 開演18:00
一般 1,000円
(当日300円増)
(全席自由)
青山ホール

〈こどもちゃれんじ〉コンサート しまじろう おとぎのくにの だいぼうけん



10/13日 7/22日発売

①開場12:00 開演12:30
②開場15:00 開演15:30
一般 1,900円
※3歳以上有料
(全席指定)
伊賀市文化会館

先取りインタビュー

さかもと あ ゆ こ

坂元愛由子さん

来る8月4日(土) 青山ホールにて「新世紀コンサート 2012 坂元愛由子トリオコンサート」が開催されます。開催を前に、坂元愛由子さんにお話を伺いました。

Q：2010年の伊賀コミュニティオーケストラ定期公演でソリストとして演奏されましたが、地元での演奏はいかがでしたか？

A：その節は、大変お世話になりました。上京してからは中々帰郷できず、いつか地元で演奏できる機会があると良いな・・・と思っておりましたので、お声掛けをいただいた時には本当に嬉しかったです。ただオーケストラの団員さんにもお客様にも、お世話になった方々が沢山いらっしゃいましたので、思いのほか緊張しました(笑)

Q：坂元さんは、ソロやオーケストラ、室内楽での演奏等の多彩な活動をされていますが、今後はどのような目標をお持ちですか？

A：今は純粋に、色々な音楽のジャンルに関われる事を楽しんでいますね。例えばポップスにはポップスの、タンゴにはタンゴの、それぞれに素晴らしい専門のプレイヤーがいらっしゃいます。その方達の演奏を間近で見ることで、演奏はもちろん、プログラムの構成ですとか、違った視点で音楽を見つめることが出来ると思っています。クラシックには無い奏法も多いので、楽器の無限の可能性を感じます。たまに距離を置きたくなって浮気(笑)もするのですが、クラシックを一生かけて学んでいかなばと思う気持ちは変わりません。人と演奏することが好きなので、アンサンブルの勉強をもっときちんとしていきたいですね。今後も試行錯誤しながら取り組んでいきたいです。

Q：今回のトリオでの演奏上のポイントを教えてください。

A：ポイントですか・・・難しいですね！もちろん、本番で皆様に聴いていただく時には、ある程度

三人の中で定まった演奏をするわけですが、そこに至るまでには色々あるものです。

「ここはこう弾きたい！」「いや、それは違う！」などの意見交換や、合わせをしているのに楽器も弾かず、黙って考え込みながら時間が過ぎていく・・・という事も珍しくありません。

今回のメンバーは穏やかなので喧嘩はしませんが、黙り込む&各自反省の気持ちは多かったと思います(笑)

そうやって折り合いをつけながら「自分のベスト」ではなく「三人のベスト」を探った結果の演奏ですので、息遣いやアイコンタクト、音を寄り添わせていく部分を感じていただけたら嬉しいです。自分でハードルを上げてしまった気がします(笑)

Q：「音を寄り添わせていく…」 素敵な言葉ですね。益々、楽しみになりました。それでは最後に、伊賀のみさんに一言メッセージをお願いします。

A：今回、新世紀コンサートに出演させていただくことになり、本当に嬉しく思っています。大きなホールですが、音に込める気持ちがお客様に届くよう、精一杯演奏させていただきます。どうか、最後まで楽しんでいただけたら幸いです！ありがとうございました。

まっすぐに音楽と向き合っている姿がとても素晴らしい坂元愛由子さん、これからもたくさん素敵な音楽を私たちに届けてください。伊賀の地から心より応援しています。

(広報事業委員 辻村勝則)



いちやま しょうせん

弧の会代表 市山 松扇さん

日本舞踊家集団【弧の会】ピックアップメンバーによるレクチャー&デモンストレーション、8月5日(日)伊賀市文化会館で開催されます。公演を前に弧の会代表の市山松扇さんにお話をうかがいました。



Q：日本舞踊というと敷居が高そうですが、魅力を一言でお願いします。

A：日本の伝統、文化の象徴である民族衣装の着物を着た上での洗練された動き、静と動、日本の美。日本舞踊は日本の過去と現在と未来をつなぐものです。

Q：日本舞踊のお家に生まれて、小さい頃から特別なお稽古をしてこられたのですか。

A：魚屋の家に生まれましたが、八百屋の家に生まれたら野菜があるように自然と三味線の音や着物に馴染んでおりました。ですから私にとっては決して特別な事とは思っておりませんでした。ただ今思えばそういった物に触れている時間はほぼ毎日の事で、こういった環境でない方と比べれば人の何倍にもなるのでしょ

うね。

Q：【弧の会】結成のいきさつと、目指していくことを教えてください。

A：日本舞踊の未来を危惧して『今、何かをしなれば』と思っておりましたが、周りには同じ思いの仲間達がおりま

した。一人では出来ないことを皆の力を合わせてやっていこうと集まりました。日本には日本舞踊があり日本人として誇れる素晴らしいものだということを一人でも多くの方々にお伝えしていく努力を続けてまいります。

Q：舞踊家として、心の糧になるようなことはどんなことで

すか。
A：日本には日本舞踊があります。他国にもバレエ等その国々の伝統と文化が育んだ様々な舞踊がありますが、身体を使って表現する、心を伝えるという事は皆一緒。いわば舞踊は全世界の共通語です。他の国の舞踊にも感動し感銘をつけてその思いをもって日本代表のつもりで頑張ります。

Q：今回のレクチャー公演の見どころを教えてください。

A：今回は4人だけで伺いますが、難しい専門的なお話をするつもりはございません。皆様が『観て・聞いて・感じて』日本舞踊が決して敷居の高い特別なものではないと思っただけ、より身近に感じていただければと思ってあります。そんな訳で皆様よくご存知の日本の昔話『さるかに合戦』を弧の会風に踊りにしました。わからなかったなんて言わせません！

ありがとうございました。私も幼い頃、日本舞踊を習っていましたし、母も80歳頃まで楽しんで習っていました。私のように経験のある人も、初めて舞踊をご覧になる人も楽しんでいただけるような内容ですね。伊賀公演、楽しみにしています。

(広報事業委員 松永啓子)



一筆啓上 ふるさとへ

「22歳が思う故郷伊賀」

ちよ くにとし き
九重部屋 千代の国憲輝

中学校を卒業と同時に九重部屋へ入門しましたので、伊賀を離れ6年が経ちました。その間、大関の千代大海関（現：佐ノ山親方）に憧れ、「早く強くなりたい、早く幕内に上がりたい」と稽古に没頭していました。そんな中、相撲界の不祥事が発覚し、多くの方々に大変なご迷惑やご心配をお掛けした事にお詫び申し上げますと共に、沢山の方々からの激励に対し心からお礼申し上げます。

伊賀の地で遊んだ記憶はあまり無いのですが、ランニングやトレーニングをしていた場所が今でも甦ってきます。よく食べ、よく汗をかき、よく怒られた伊賀という事でしょうか。



それは今でも変わりませんがね（笑）。一年の内に何度かは伊賀へ帰るのですが、皆が温かく迎えてくれますのでテンションも上がりますし、やはり一番落ち着けます。そういった部分では伊賀の皆さんは人情味があり温かいと実感します。伊賀に住んでいた頃には特に感じる事も無かったのですが、遠く離れた東京で暮らしていると、いつも見ていた田んぼや山、或いは川であったり自然の風景っていうものが、それだけで「癒し」になるんだなと感じています。

伊賀に帰る度に名古屋からの交通の便が悪いと感じています。鉄道の便が悪いので、どうしても自動車になってしまいます。沢山の人に観光に来て頂く為に名阪国道で伊賀に入る所に何か伊賀をアピールする看板等があれば良いのと思えますし、上野東インターの名前を伊賀忍者インター等に変えろとかできればいいと思います。また、JR関西本線の複線電化を望みますね。

伊賀市の観光大使に任命して頂いてから、故郷伊賀について考える機会が増えました。忍者や松尾芭蕉、観阿弥、或いは伊賀米、伊賀肉または美味しいお酒や伊賀焼、そして伊賀の組紐。自慢できる素晴らしい歴史や文化、産業を私も観光大使としてアピールし、日本各地の方々に知って頂き、観光に来て頂けるよう相撲道を通じ頑張っていきます。

夢ing

「全国制覇を目指して」

ふじ やま とも ふみ
三重県立四日市中央工業高校サッカー部 副主将 藤山智史

僕は伊賀出身で、現在四日市中央工業高校でサッカー部に所属しています。四中工に進学を決めたのは、全国大会に何度も出場する強豪校であり、全国大会でプレーすることが僕の憧れであったからです。

入部し、厳しい練習を毎日頑張りました。その結果、全国大会で準優勝という結果を残すことができました。このような結果を残せたのも、地元の人の応援のお陰と感じています。地元へ帰ると、「感動した！」等の温かい声をいただき、次への励みになり嬉しかったです。

これからの目標は、インターハイ優勝、選手権制覇、大学への進学、憧れのJリーガーへの夢、と実現するかどうか

か分かりませんが、一日一日を大切に、日々努力し精一杯頑張りますので応援よろしくお願いします。



左側が藤山君

伊賀のええもん見つけた

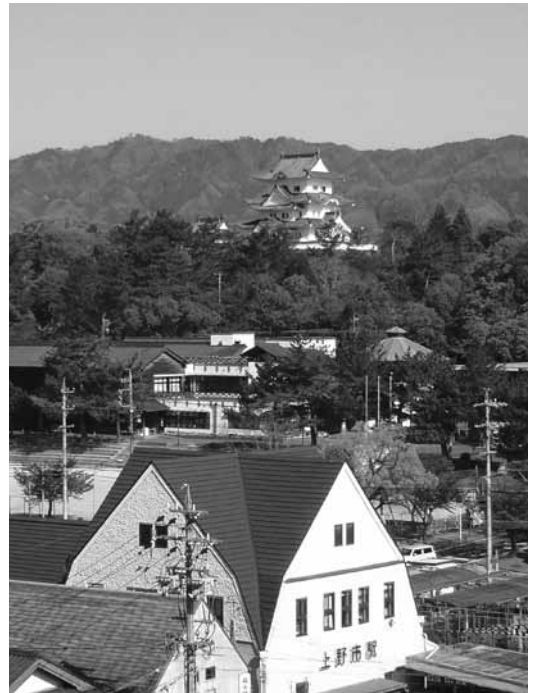
伊賀に新しい眺めあり！ ～ハイトピア伊賀～

昨年、上野市駅前に大きなタワー・クレーンが立っていた場所は、5階建てのビルになりました。公募により「ハイトピア伊賀」と名付けられました。1～2階がテナント、3階が商工会議所、4・5階が行政窓口や施設が入ります。3～5階には、様々なスペースがあり、用途やテーマに合わせた会議やイベントに利用することができます。まさに「市民の為の施設」であり、交流・発信の新しい拠点としても期待されています。

交流・発信といえば、我が「ぶんと」の得意分野。伊賀市文化会館をはじめ、市内各地にさまざまな施設・スペースがあり、市民の皆さんの交流・発信の地となっています。昨今、報道などでも文化事業や施設の縮小の話題ばかりが目につきますが、「文化振興と経済発展は両輪の輪」市民の発信の機会はより多く確保しておきたいもの。伊賀市の文化度の高さは、各地域・市民の皆さんの発信力に支えられていると思うのです。

写真はハイトピア5階のロビーからの眺めです。上野市駅から上野城を望める絶景スポットとして、ここからカメラを向ける方も多いです。是非、足を運んでいただき、伊賀の新しい景色と明日からを眺め、感じてほしいと思います。

(広報事業委員 下猶茂樹)



こだわり人生乾杯

東大寺お水取りに向けての 「紅花作り」に魅せられて

伊賀市川北 榮井 功

京都の染色史家吉岡幸雄先生の依頼を受け、平成17年より紅花を栽培している。

この紅花は、奈良二月堂のお水取りに十一面観音に捧げる「椿の造り花」用の和紙を赤く染める天然植物染料である。吉岡先生は、造り花用の和紙を紅花抽出液で染められ二月堂に奉納されている。

現在、紅花の主産地は山形であるが、文献（延喜式）によると平安時代から江戸中期までは、伊賀が筆頭の生産地であった。男子一人当たり七斤八両（現在の4.5kg）を税として納めていた。伊賀の自然風土が紅花の栽培に適しており、鮮やかな紅色が抽出できると吉岡先生は言われる。

私は、15aの畑に紅花を栽培している。畑には、籾殻・使用済の椎茸菌床・米糠・鶏糞等を入れ有機的な土壌作りをしている。4月中頃、畝に種を蒔く。困るのは雑草。食べ物でないから農薬を使えば簡単だが、我が家では農薬を使用しない方針なので手作業でと頑張る。また、成長した紅花が倒

れないように杭を打ち紐を引っばる。七夕の頃になると花が咲く。炎天下、とげに刺されながら九分咲きの頃花びらを摘み取るのは、嬉しくもあり辛くもある。摘み取った花びらを簗に干す。夏の陽を受けて紅色を増すのを見ると、紅花を育てて来た苦労が喜びに変わる。その後、乾燥させた花びらを先生宅に届けて、ひと安心。3月のお水取りが無事終了の報道を聞くと、ああ今年も吉岡先生の期待にそえた。仏様に喜んで頂けた。自分の仕事を一つやり通せた又何とも言えない充実感と満足感を覚える。この思いが、私の明日への意欲となるのである。



楽しいなにか? 便利なのかな? 嬉しいなにか? ここから生まれるよ ぶんと「伊賀のたまご」



三重大学 名誉教授 荒木 利芳

この4月から「ゆめテクノ伊賀」に研究員(特任教授)として着任しました荒木と申します。私は出身は長崎で、16年間福岡で過ごした後、1988年に三重大学生物資源学部へ赴任してまいりました。在任中は多糖を分解する微生物や酵素の研究、海藻の機能性や水質浄化などに関する研究を行ってまいりました。伊賀ではこれまで2回お話させてもらいましたが、1回目はゆめテクノ伊賀で「日本の食文化と健康」という演題で、日本食はタンパク質、炭水化物、脂質、食物繊維などのバランスがとれたヘルシーな食であるということについて講演しました。2回目はみえメディカルバレーの調査活動で5年間に渡って、三重県下の水産物などの食文化や機能

性それに漁業などの一次産業の現状などについての聞き取りなどを行い、その調査結果をヒルホテルサンピア伊賀で報告させてもらいました。調査を通して後継者不足などの問題点も多く耳にしましたが、三重県は豊かな海や森などを有する自然に恵まれた所であることを改めて感じました。二十世紀は機械工業の時代、二十一世紀は生命科学の時代ともいわれています。分子生物学を用いた生命現象の解明と共に、安全で健康的で、おいしい食の提供、人の精神をリラックスさせる自然との共存、それとその地域固有の歴史や文化の発信が今後益々重要になっていくものと思われます。これら条件が備わった伊賀市はこれから益々楽しみな所と思います。それで、微力ではありますが何かお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



「一本の傘」

北泉 優子

No.42

また梅雨の季節がきた。雨女のくせに雨のきらいなわたしには苦手な気候である。ざっと大降りになって、すつとあがり、あとは、からりと晴れる夕立ちならまだいいが、じとじとといつまでも降り続け、来る日も雨というのは、舐中にカビがはえそうで、ほんとうに嫌だ。そんな日は、用があつても外出するのがおっくうになる。どうしても行かなければならない時は、うっとうしい気分を払うように、少し派手な色の服を着、傘も色のきれいな物を持つ。そうすると気分もすっきりし、足取りも軽くなる。

傘といえば、わたしには大切な一本の傘がある。18才で上京し、姉との二人生活に入ったのだが、6月のパースデーに、東京日本橋の三越で姉に買ってもらった折りたたみ式のものだ。若い娘に似合らしい鮮やかなピンク地に白の水玉模様で、一目で気に入ったわたしは、雨が嫌いなくせに、雨の日を待ったものだった。

初めて差した日、可愛い傘だねと誉められて、とても嬉しかったことを、

今でも覚えている。

この傘とは、不思議な縁で結ばれていた。何度忘れても、紛失しても、必ず見付かって、手元に戻ってくるのだ。年を経て、もういくらなんでもピンクの水玉は派手すぎると、別の物を、それにもかなり高価なのを買ったのだが、それは、たった二回使っただけで、劇場のロビーの傘置場で盗まれてしまった。別のを買う暇がなく、仕方なしに水玉を差していたが、ある日、電車の中に忘れた。一応届けておこうと東京駅の遺失物預所に出むいたら、誰か知らない方が、ちゃんと届けてくれた。

やっぱりご縁があるのだと暫く愛用していたが、40才近くになると、さすがに気恥ずかし、また、使いづらかったので、新品を買った。が、それも、タクシーの中に忘れ、二度と出てこず、三度水玉の出番と相成ってしまった。一番多忙だった40才後半、仕事疲れはお酒で、わたしは、浴びるほど深酒した。六本木や青山、渋谷とはしごし、酒友の男連中を全部送って、参宮橋の自室に帰った。

ある夜、雨の日だった。酒ぐせの良くない演出家の男性が、「いい年をして、ピンクの水玉の傘でもあるまい。おまえさんのギャラは、傘一本買えないほど安いのかい」とからんできた。頭へきたけれど、ぐっと我慢したわたしは、雨が上がったのをさいわい、そつとその酒場に傘を置いて帰宅した。が、その翌日、ママさんから電話があつて、傘を預かっているから、届けてあげる

とのこと。そして、午後には拙宅へ持ってきてくれた。ママは今で云うニューハーフ。男の決断と女の感性を有している。わたしは、ママに選んでもらって、からし色の水玉の傘を買った。しかし、それも、渋谷の喫茶店で、間違えられて、紛失してしまった。仕方なくまたピンクの出番となった。

東京から伊賀へ引越した日、じつは傘を捨てようと思った。だが、捨てられず、田舎まで連れてきた。けれど、60才に手が届く年令になつては、ピンクの水玉で出歩くのとはばかられ、納戸の奥深くしまい込んである。

この六月、わたしは75才になる。56年間おつきあひした傘を出して、歩いてみようかな。「あれまあ気の毒に。あの人も認知症になつたんやなあ」と噂されるだろうか……。

むかし、伊賀は、伊賀傘と呼ばれ、蛇の目傘の産地であつた。洋傘の台頭ですたれてしまったが、現在は製造されていらないのだろうか。わたしは洋傘より、細目の蛇の目のほうが好きである。伊賀傘の蛇の目、どこかに売っていないかしら。ジーンズにもよく似合うのに……。

ピンクの水玉と細目の蛇の目。どちらもいいなあ。
梅雨まっさかりの日、ド派手なピンクの洋傘を差していても噂しないからね。まだ目下の所はほけていないから。思い出に心傾けながら、雨音を聴いているんだと、受け止めてください。

(作家・市内在住)

映画『エクレール お菓子放浪記』

東日本大震災前の宮城県石巻市を舞台に撮影された映画『エクレール お菓子放浪記』を上映し、被災地を支援しようと全国で輪が広がり、伊賀市でも上映が決定しました。



【場 所】 伊賀市文化会館 さまざまホール

【日 時】 6月22日(金)

①10:30～ ②14:00～ ③19:00～

【場 所】 あやま文化センター さんさんホール

【日 時】 6月23日(土)

①10:00～ ②13:00～ ③16:00～

※各30分前開場。(全席自由)

【料 金】 一般 前売 1,000円/当日 1,500円

小中高生チケットは800円で当日のみ販売

※チケット1枚につき100円が東日本大震災義援金として寄付されます。



楽しく伝統芸能を習ってみませんか！

能楽教室 生徒募集

600年も昔から受け継がれてきた『能』に触れてみませんか！
ふるさと会館いがでは、月約2回の能楽教室を年間として開催しています。難しいのでは…と思われる方も大丈夫!!
レベルに応じて指導いたします。
『能』を観たことがない方でも大歓迎です。

【場 所】 ふるさと会館いが 小ホール及び会議室

【練習日】 月約2回第2・4水曜日

※練習日は変更になる場合があります。

【時 間】 18:00～22:00の間

【参加資格】 ・小学生以上 ・練習に参加可能な人

【料 金】 月額2,000円

※ただし、3月9日(土)開催の本公演チケット12000円分負担

【持ち物】 足袋(厚手の靴下可)

【申 込】 (公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511



気軽に問合わせください。

日本の伝統文化『能』

夏休みの自由研究に 「能楽」を体験してみよう！

大人の方でも大歓迎です！

- ・能の歴史について
- ・小鼓など、楽器体験
- ・能の装束試着
- ・実際に舞ってみよう
- ・能楽教室参加の子ども達による仕舞鑑賞
- ・プロの能楽師の仕舞鑑賞
- などなど

【開催日時】 7月29日(日)14:00～16:00

【場 所】 ふるさと会館いが 小ホール・会議室

【対 象 者】 小学生以上(先着60名)※小学3年生以下は保護者同伴

【参加費】 無 料(冷たい飲み物付き)

【申込方法】 7月7日(土)午前10時から 電話22-0511 で受付

史跡旧崇廣堂特別講座

漢文学教室

参加者募集

歴史情緒あふれる江戸時代の藩校で、歴史史料をもとに「漢文学」を学んでみませんか。どなたでも気軽に学習いただける講座ですので、ぜひご参加下さい。

【開催日時】 4回講座

第1回 7月14日(土)

第2回 7月28日(土)

第3回 8月11日(土)

第4回 8月25日(土)

講義時間 13:30～15:00

【講 師】 皇學館大学名誉教授 野村 茂夫 氏

【テ ー マ】 「論語」を読む

【参加費】 800円(4回分、初回に徴収します。)

【定 員】 50名

【申込受付】 6月18日(月)午前9時から ☎22-0511 にて申込受付



参加者募集

タッチ・ザ・スタインウェイ

～世界最高峰のスタインウェイを

気軽に弾いてみませんか！～

■ふるさと会館いが 7月28日(土)10:00～17:00

■青山ホール 8月5日(日)10:00～17:00

□演奏時間 1枠30分 ※おひとり1枠のみ

・申込者本人のみ利用。・音楽教室等の指導としての利用不可。

□参加費 500円

・青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組1時間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)

・1枠に3名以上(ただし2台の場合は除く)の使用は不可。

□募集人数 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切

□申込方法 6月23日(土) 午前11時から電話受付

□申 込 先 ●ふるさと会館いが TEL 45-9125 (月曜休館)

●青山ホール TEL 52-1109 (水曜休館)



チャリティーライブ Full・Come・Live Vol.36

地域で文化活動している方に発表の場を提供!!

今回チャリティーにご協力いただく出演者は4組です。

お友達やご家族と一緒にご来場ください。



◆笑々亭福麻呂

笑ってください。
笑う門には福来る!!



◆M・Kurahashi

2012
爺's OLD LOVE SONGを
お届け!



◆ensemble io

2011.11.1より活動。
フルートとクラリネットの
アンサンブルをお楽しみ
ください



◆BIND VOICE

GREEN DAYのパンクバンド!
パワフルな演奏をお楽しみに!!

【日 時】 7月8日(日) 13:30開場 14:00開演

【場 所】 ふるさと会館いが 小ホール

【入 場 料】 無料 (チャリティー募金にご協力下さい)

【お問合せ】 (公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

夏休み特別企画

文化三昧! イガデハク in 上野歴史民俗資料館

なつやすみ てづくり体験 ふえすた

夏休み期間の子ども達に、楽しく、質の高い手づくり体験!

全国からアート&クラフト・手づくり作家・匠が集結する

「イガデハク=伊賀でデザイン博」。その展覧作家の皆さんに協力していただき、作品の質感の高さを感じる作品展示・体験の場をご用意します。

【場 所】 上野歴史民俗資料館 (☎21-6666)

【期 間】 7月22日(日)～8月26日(日)

【開館時間】 9:00～16:30

【入 館 料】 大人200円、高・大学生150円、
小中学生100円

※参加作家・体験の内容については、チラシをご覧ください。

※体験イベントに参加する場合は、実費が必要です。

漫画家
永井芳司氏の
懐かしの漫画
コレクション展
もお楽しみに!

■施設アート活用特別企画■

作品展示者募集

灯りと華のプロムナード

伊賀の歴史的な施設、栄楽館、史跡旧崇廣堂、旧小田小学校本館、武家屋敷入交家住宅を美しく彩る「手づくり灯り作品」と「いけばな」の展示者を募集します。

風情ある「和の空間」をあなたのアート作品が彩ります。

■募集期間 7月1日(日)～7月31日(火)まで

■応募方法 所定の応募用紙にてご応募いただきます。
電話22-0511番までお問合せください。

■展示場所 上記伊賀市内4施設(予定)

■展示期間 10月6日(土)～10月8日(月・祝)

■灯り作品 ・電球等の灯りをを用いた手づくりアート作品
一人3点以上で、施設内に展示出来るもの。

■いけばな展示 ・大作を含み、花・花器等は各自でご用意いただきます。当方でライトアップします。

※詳細は、チラシをご覧ください。電話でお問合せください。

お問合せ：(公財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

体育施設利用事業
吹矢式呼吸法で健康に！

スポーツ吹矢体験会

【日 時】 7月22日(日)
13:00~15:00(予定)

【場 所】 伊賀上野武道館

【料 金】 1000円

【定 員】 30名(限定)

【対 象】 一般(高校生以上)

【講 師】 ㈱日本スポーツ吹矢協会所属

三重県スポーツ吹矢協会会長 公認指導員 栗本 義久 ほか

【申込受付】 7月7日(土)午前9時から ☎22-0511 で申込受付。



北欧生まれのニュースポーツ “ノルディック・ウォーキング”を体験しよう!

2本のポールを持って、歩行運動を補助しながら歩くため、腰や膝に負担が少なく、ダイエットや姿勢矯正、リハビリ、介護予防などに効果があるとされる、今注目のウォーキングエクササイズです。
まずは、ちょっとだけ体験してみませんか?

【日 時】 6月30日(土)

受付 9:30~ 時間 10:00~12:00

【場 所】 上野運動公園スポーツセンター前

【料 金】 2000円

【対 象】 18歳以上

【定 員】 50名 ※先着順。定員になり次第締切

【申込受付】 6月17日(日)午後1時から

☎22-0511 で申込受付。



元気ママ、ママ&ベビーの3B体操

【日 時】 毎週火曜日・10回講座

第3期 9月11日(火)~11月13日(火)

☆元気ママクラス・・・10:00~10:50

☆ママ&ベビークラス・・・11:00~11:50

【場 所】 三重県立ゆめドームうえの 軽運動室

【料 金】 5,000円

【対 象】 ☆元気ママクラス・・・1歳以上の未就園(所)児とその保護者

☆ベビー&ママクラス・・・

生後3か月から1歳未満の乳児とその保護者

【定 員】 各15組

【講 師】 ㈱日本3B体操協会公認インストラクター

【申込受付】 6月27日(水)午前10時から

☎22-0511 で申込受付。

Enjoy! ヒップホップエクササイズ

ヒップホップのリズムに乗って、楽しくカッコ良くエクササイズしてみませんか!?

音楽やダンスの動きを楽しみながら、自然とカラダを引き締めることができます。

ダンスが踊れないという方も、簡単な動きから初めていきますのでお気軽にご参加ください。

【日 時】 毎週土曜日 6回コース

第3期 7月21日(土)~9月1日(土)※8/11 休講

受付 19:00~/時間 19:30~20:30

【場 所】 伊賀上野交流研修センター第4研修室

【料 金】 3,000円

【対 象】 一般(高校生以上)

【定 員】 30名 ※先着順。定員になり次第締切

【申込受付】 6月23日(土)午前10時から

☎22-0511 で申込受付。



太極拳教室

ーカラダの芯から
リラックスー



【日 時】 毎週土曜日・8回講座

第2期 7月14日(土)~9月8日(土)

※8/11 休講

受付 9:30~/時間 10:00~11:30

【場 所】 いがまちスポーツセンター

【料 金】 4,000円

【対 象】 一般(高校生以上)

【定 員】 20名

※先着順・定員になり次第締切

【申込受付】 6月23日(土)午前9時から

☎45-9125 にて申込受付。

アクアZUMBA

水中ダンスフィットネス

【日 時】 毎週水曜日 5回コース

8月1日(水)~9月5日(水)

※8/15 休講

受 付 19:00~/時間 19:30~20:30

【場 所】 阿山B&G海洋センター プール

【料 金】 2,500円

【対 象】 一般(高校生以上)

【定 員】 30名

※先着順・定員になり次第締切

【申込受付】 6月23日(土)午後2時から

☎22-0511 にて申込受付。

アクアビクス

みんなで楽しく水中エクササイズ

【日 時】 毎週金曜日 5回コース

7月6日(金)~8月3日(金)

受 付 19:00~/時間 19:30~20:30

【場 所】 阿山B&G海洋センター プール

【料 金】 2,500円

【対 象】 一般(高校生以上)

【定 員】 30名

※先着順・定員になり次第締切

【申込受付】 6月23日(土)午後1時から

☎22-0511 にて申込受付。



ZUMBA
ラテン系フィットネス

【日 時】 毎週木曜日 10回コース

第3期 7月5日(木)~9月13日(木)

※8/16 休講

受 付 19:00~/時間 19:30~20:30

【場 所】 伊賀上野交流研修センター第4研修室

【料 金】 3,000円

【対 象】 一般(高校生以上)

【定 員】 30名

※先着順・定員になり次第締切

【申込受付】 6月23日(土)午後3時から

☎22-0511 にて申込受付。

Let'sYOGA in 武道館

リラックス&ダイエット



【日 時】 毎週金曜日 10回コース

第3期 8月31日(金)~11月2日(金)

受 付 10:30~/時間 11:00~12:00

【場 所】 伊賀上野武道館

【料 金】 5,000円

【対 象】 一般(高校生以上)

【定 員】 15名

※先着順・定員になり次第締切

【申込受付】 6月22日(金)午後1時から

☎22-0511 にて申込受付。

美と健康の総合プロデュース

YOGA de Night!

心身共に健康で自立できる
元気な体づくり!



【日 時】 毎週水曜日 6回講座

第2期 7月4日(水)~8月8日(水)

受 付 19:00~/時間 19:30~20:30

【場 所】 伊賀上野交流研修センター

【料 金】 3,000円

【対 象】 一般(高校生以上)

【定 員】 40名

※先着順・定員になり次第締切

【申込受付】 7月1日(日)午前9時から

☎22-0511 にて申込受付。

ホール・ドーム ぶんと通信 情報

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
7/15(日) 9:30~	第22回全国ドッジボール選手権三重大会	第一、第二	三重県ドッジボール協会 ☎059-378-3920 (内田)
7/21(土) 9:00~	平成24年度伊賀地区中学校卓球大会	第一	伊賀地区中学校体育連盟 ☎52-1170 (内田)
7/22(日) 9:00~		第二	
7/28(土) 10:40~ 7/29(日) 10:30~	三重県中学校総合体育大会新体操大会	第一、第二	三重県中学校体育連盟 ☎48-7174
7/31(火) 8/1(水) 9:00~	三重県中学校総合体育大会卓球大会	第一、第二	三重県中学校体育連盟 ☎52-1170 (内田)
8/4(土) 8:30~	第8回伊賀市スポーツ少年大会	第一、第二	伊賀市スポーツ少年団 伊賀市教育委員会 ☎47-1284
8/5(日) 9:00~	第3回三重フレンドリーキンボールスポーツ大会	第一	三重県キンボールスポーツ連盟 ☎23-8048(赤澤)

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/17(日) 13:00~	ジュニアエレクトーンフェスティバル&エレクトーンステージ 店別大会	無 料	(株)さわ楽器 ☎23-8080 (澤)
6/23(土) ①10:00 ②13:00 ③16:00	映画「エクレール・お菓子放浪記」伊賀市 東日本大震災復興支援上映会	前売り 一般1,000円 当日 一般1,500円・ 小中高生800円	映画「エクレール・お菓子放浪記」伊賀市上映実行委員会 ☎21-5866 (伊賀市社会福祉協議会 乾・山口)
6/28(木) 12:30~	第38回三家連精神保健福祉大会	100円(資料代)	特定非営利活動法人 三重県精神保健福祉会 ☎21-5010 (上野病院 殿村・中山)
6/30(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費 500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館い)

プールオープン!!

次の期間にプールを開設します。

◇上野運動公園プール

開設期間等 7/20(金)~8/26(日)まで
10:00から16:00まで
※7/30(月)、8/6(月)は休業します。
時間区分 ①10:00~12:00
②13:00~16:00
(毎時50分から10分間休憩)

◇阿山・大山田B&G海洋センター

開設期間等 7/7(土)~9/9(日)まで
9:00~22:00まで
※阿山は火曜日、大山田は月曜日を休業します。なお、休日の場合は翌日とします。
時間区分 ①9:00~12:00
②13:00~17:00
③18:00~22:00
毎時50分から10分間休憩

- ◇利用料金 各プール共通 1区分
一般300円、
中学生以下150円、乳幼児50円
- ◇その他
①遊具の使用は、利用者数等により禁止する場合があります。
②小学校低学年までは保護者同伴でご利用ください。
③オムツの取れていない乳幼児の入水は、プール用オムツを着用して幼児用プールのみ可とします。
④上野運動公園プールの50mプールは、安全確保のため身長140cm以下の方の入水はお断りします。
⑤阿山・大山田B&G海洋センターでは、水泳キャップを着用いただきます。
⑥水泳教室等の開催により利用できないときがありますので、ホームページにてご確認ください。
⑦気象状況等により開設期間及び時間を変更することがあります。

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/17(日) 11:00~	三重カラオケ大会2012	前売り500円 当日700円	三重カラオケ大会実行委員会 ☎21-0013 (サワ/家器店 澤野)
6/22(金) ①10:30 ②14:00 ③19:00	映画「エクレール・お菓子放浪記」伊賀市 東日本大震災復興支援上映会	前売り 一般1,000円 当日 一般1,500円・ 小中高生800円	映画「エクレール・お菓子放浪記」伊賀市上映実行委員会 ☎21-5866 (伊賀市社会福祉協議会 乾・山口)
6/24(日) 17:30~	ORANGE RANGE LIVE TOUR 012 NEO POP STANDARD	一般5,500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
7/8(日) 13:00~	ひまわりコンサート 太陽に両手をひろげて23	大人1,300円 小中高500円 ※当日券は各200円増	上野ひまわり作業所 ☎39-1133(小崎)
7/11(水) 13:00~	橋幸夫コンサート ゲスト 上杉香緒里	SS席4,000円 A席1,000円	エムアイ企画 ☎03-6383-4451
7/16(月・祝) 13:00~	ピアノコンサート	無料	ピアノショップ三響楽器 ☎43-1705
7/29(日) 9:45~	チャリティー芸能発表会&服部浩子、走裕介ショー	2,000円	チャリティー芸能発表会事務局 ☎20-1362
8/2(木) 18:00~	名張桔梗丘高校吹奏楽部 ファーストコンサート	無料	名張桔梗丘高等学校吹奏楽部 ☎65-1721 (和田・藤永)

青山ホール 伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/17(日) 10:00~	ヤマハ音楽教室 ジュニアエレクトーン フェスティバル エレクトーンコンサート	無 料	(有)前田文具 ☎63-0159
6/24(日) 13:00~	2012 BLUE ECHO 歌謡コンサート	会員券 (1,000円)	青山文化サークル連絡協議会 BLUE ECHO ☎090-6072-2180 (福岡)
7/1(日) 14:00~	混声合唱団コーロ・Gui 18年目の演奏会~「生きる」~	大人 1000円 高校生以下 500円	混声合唱団コーロ・Gui ☎090-1474-6540 (橋口敬子)
7/8(日) 13:00~	ピアノ発表会	無 料	乾 裕香・延山正子 ☎65-8055 (延山正子)
7/14(土) 10:30~	青山老人クラブ連合会 福祉大会	関係者のみ	青山老人クラブ連合会 ☎52-1445 (森 徹)
7/22(日) 14:00~	5th Anniversary Concert Vocal Ensemble Sweet	1,000円	ヴォーカル アンサンブル スイート ☎090-7686-1197 (池澤)
8/4(土) 14:00~	新世紀コンサート2012 坂元 愛由子 トリオコンサート	一般1,000円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
8/5(日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール)

ふるさと会館いが 伊賀市下柵植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
6/16(土) ①13:00 ②18:30	「いきいき未来いが2012」 (第1部) 男女共同参画フォーラム (第2部) 三重県男女共同参画推進協議会2012	大ホール	無 料	伊賀市男女共同参画ワーキング会議 伊賀市 ☎22-9632 (伊賀市人権政策 男女共同参画課)
6/24(日) 14:00~	第19回 あい・愛コンサート	大ホール	前売 500円 当日 700円	あい・愛コンサート実行委員会 ☎43-1038 (山内)
6/30(土) 13:30~	伊賀市解放保育研究会「講演会」 演題「部落差別と意識転換を考える」	小ホール	無 料	伊賀市解放保育研究会 ☎22-9655 (甲野)
7/4(水) 10:00~	絵本の時間	小ホール	無 料	いかまち公民館教室 絵本の時間 ☎45-9122 (西川)
7/8(日) 14:00~	チャリティーライブ Full・Come・Live Vol.36	小ホール	無 料	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
7/13(金) 7/14(土) 19:30~	モロロジー生涯学習セミナー	小ホール	1,500円 (別途テキスト代270円)	公益財団法人モロロジー研究所 ☎090-7316-0525 (堀田)
7/28(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館い)
7/29(日) 14:00~	能ワークショップ 夏休みの自由研究に「能楽」を体験してみよう!	小ホール	無 料	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

伊賀びと川柳

手裏剣もゲームも、の忍び技
伊賀グルメ地産地消の味づくり
伊賀グルメ地産地消の味づくり
上田公美彦
井ノ上輝男
★かたやををしやうて孫は初節句
文学と歴史彩る伊賀の里
田中 鏡子
伊賀忍者世界を股に頑張つて
寺田 ちよ
おしもんを食って元気な寺社巡り
中島 さゆ
福沢 義男

次号(83号)の締切は7月15日です。投稿いただいた方の中から★印の方に「石川さゆり40周年記念コンサート」のペアチケットをプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで右記までお願いします。

●編集部だより●

当協会は本年4月1日より公益財団法人に移行しました。これは、平成20年12月からスタートした新公益法人制度によるもので、「ぶんと通信」での表示も第81号からは(財)から(公財)伊賀市文化都市協会と変えています。

6月1日からは上野丸之内にあるハイトピア伊賀5階の伊賀市生涯学習センターの受付業務を伊賀市から受託しました。新たに設けられた文化発信基地の管理を一部請け負ったこととなります。

組織や施設をより有効なものとするには、それぞれが持つ役割や機能を明確にし、その違いを顕著にしていくなかで考えます。同じ地域に似たようなものが無駄にいくつもあつたという状況は歓迎できません。また、この度の国を挙げての「民間による公益活動の増進を目的とした新しい制度」の導入が、よりコンパクトな行政組織をいち早く実現するためのものとなるよう大いに期待します。

文化振興には資金も必要です。無駄遣いなどできません。

(広報事業委員 菊野 善久)



お問い合わせ (公財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2 Eメール samazama@bunto.com

・伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com>
・ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/~furukan/>